

学習内容報告書

学校名	八戸市立金浜小学校
授業者	田名部純一 佐藤かおる 北村美沙紀

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「里海のめぐみを調べよう」を発信しよう

1-2. 学年

2～6年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合・生活科・社会科

1-4. 単元の概要

①ウニはかせになろう。

ウニのことを調べて、学習発表会で発表する。



②海岸で拾ったものを使って作ろう。

ウニ・ワカメ・コンブになりきって発表

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・ウニのことを調べてわかったことをまとめて、地域の方に発表する。
- ・海岸の漂着物や自然物を使い工作をして、海の思い出をつくる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・対象との体験的なかわりを通して、課題に気付く
- ・目標を設定して課題の解決に向けて行動する。
- ・相手や目的に応じて効果的に表現する。

1-7. 単元の展開 (全13時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
8	<p>①ウニはかせになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ウニの体のつくりを調べよう。 <p>体のつくりを図鑑やインターネットで調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> もっと詳しく調べよう。  <p>わからないことを漁業部会の方をゲストティーチャーにむかえ教えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ウニの動きや海藻を食べる様子を観察する。 ウニ新聞をつくろう。 調べてわかったことを、学習発表会で発表する。 	<p>外部：金浜漁業生産部会・・・ゲストティーチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> ウニや改装を提供してもらう。  <p>まとめのウニ新聞</p> <p>評：ウニの生態をわかりやすく発表することができたか。</p>
5	<p>②海岸で拾ったものを使って作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工作することを知らせ、海岸清掃の時に材料を集めておく。 集めた材料からどんな作品ができるか考える。 実際に作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用材料購入 (ビン、木の箱、写真フレーム、紙粘土、ビーズ) <p>評：自分で集めたものを上手に使い、作品に仕上げることができたか。</p>  <p>児童の作品</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

・ウニことを調べて疑問に思ったことをゲストティーチャーに質問したり、生きているウニを観察したりして、さらにウニについての理解を深める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○ゲストティーチャーの紹介</p> <p>○実際に触ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バケツにくっついて離れない。 ・バケツに何かくっついている。 （管足が切れたもの） ・とげがちくちくする。  <p>○生きているウニの観察</p> <p>海水を入れた水槽に海藻とウニを入れて観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウニの殻から管足がのびてきた。 ・管足を使って動いている。 ・海藻の方に寄って行った。 <p>○海藻を食べるところの観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べている様子がよくわからない。 ・ゆっくり食べているのかな。 <p>○質問コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなものを食べていますか？ ・何年ぐらいで大きくなるのですか？ ・切れた管足は元通りになるのですか？ 	<p>外部：金浜漁業部会生産部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめウニを海水の入った水槽へ入れておく。 ・自由に触らせて、感触を味わわせる。  <ul style="list-style-type: none"> ・観察が終わっても水槽に入れたままにして、海藻を食べる様子を時間をかけて観察する。 <p>評：ゲストティーチャーに質問したり、生きているウニを観察したりして、さらにウニについての理解を深めることができたか。（観察・感想発表）</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 金浜漁業部会生産部の方にウニ、海藻、海水を持ってきてもらい、教室で行うことで、観察に集中することができた。
- 実際に見たり触ったりすることで、実感を伴った学習を進めることができた。
- 時間はかかったが、コンブやワカメの食痕を見ることができよかった。



コンブを食べた跡



メカブを食べた跡

4. 今後の課題

- ウニを観察してウニを身近なものとしてとらえることができた。今後は、地域の方のウニに対する思いや、環境に対する配慮、海産資源を大切に守ろうとする取り組みなど、学べるようにしていけるとよい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 生きたウニや海水・海藻が必要になる。